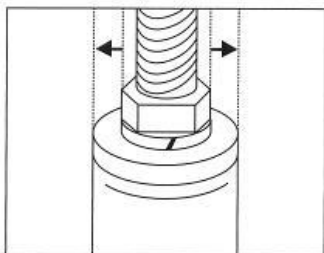


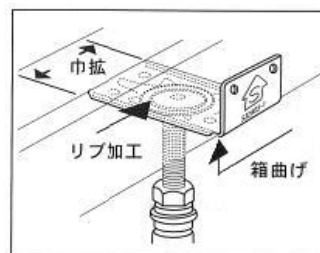
ステップ鋼製束の特徴

■ 容易な施工性



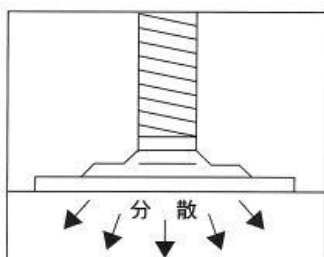
弊社独自のパイプ構造により
従来のスエージングパイプに比べ
ばね座金の接触面が大きくなり、緩み止め機能と
積荷に対する安定性が大幅に向上致しました。

■ 大引へのめり込み防止



大引受具は特殊加工を施し、強度を向上！
受プレート全体で荷重を支え、大引へのめり込みを
防止し、嫌な床鳴りの原因を軽減します。

■ 抜群の安定性



鋼製束の土台となるベース金具にも
特殊加工(リブ加工)を施し、荷重を分散させます。
基礎体(コンクリート)への負担を軽減し
抜群の安定性を発揮致します。

<<<特許取得構造>>>

■ 優れた耐久性能

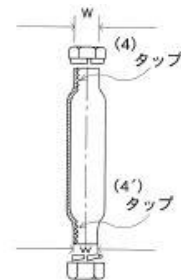
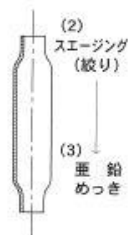


業界初！特許取得構造

ネジ部にめっき処理を施したナットを
パイプ内側に圧入し、防錆性能が飛躍的に向上。
耐用年数が大幅に延びました。
一般的な床下環境使用で50～60年の寿命があります。

ステップ鋼製束と従来品との相違点と効果

パイプ

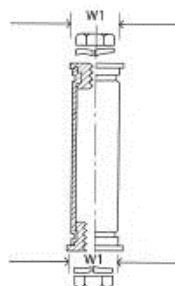
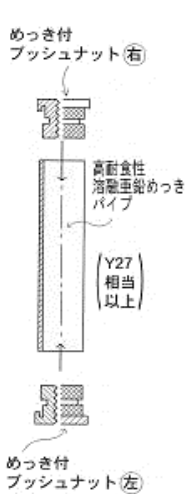


従来品

- 溶融亜鉛めっき処理の伴うターンバックル(パイプ)はめっき処理後にねじ切加工(タップ)が施されます。これにより、パイプ内側のねじ部分には殆ど亜鉛合金層がありません。これをここに螺合するボルト側の亜鉛による保護犠牲的防食作用で補うこととして来ましたが、近時の屋外曝露試験からその部分での亜鉛付着は双方(パイプ・ボルト両側)に合金層がある場合と、前途の亜鉛付着(ボルト側のみ)を比べますと大きく劣る事が裏付けられました。しかもこの部分は、大切な調整機能を司る場所だけに速やかな改善が求められていました。
- パイプをスエージ(絞り・先細)加工しており、緩み止め用のばね座金との接触面が非常に小さく不安定でありました。時には、強く締め込みますとパイプ外径よりはみ出す可能性もありナット締め付け作業に手加減を要しておりました。

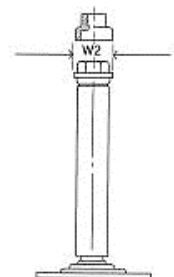
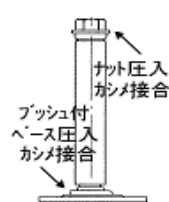
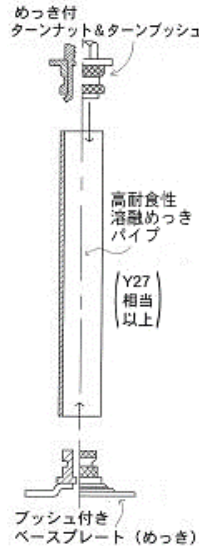
ステップ①

<<特許取得構造>>




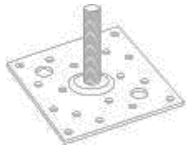


ステップ②

<<特許取得構造>>



ステップ鋼製束

- 主要構造部に於けるめっきの無い部分をなくしており耐久性は大きく向上致しました。
- 新構造によるプッシュナットの座面の大きさは、ばね座金・ナットよりも大きくし緩み止め機能の向上と締め付け作業を容易なものに致しました。これで、ばね座金はパイプ外径よりはみ出す心配はありません。それと、ボルト(Y軸)に対するプッシュ座面(X軸)の直交率(スワリ)が大変良くなり積荷に対する安定性が向上しております。
- めっきパイプを任意の長さに切断し、プッシュナット類を圧入・カシメ加工するという弊社独自の技法を用いております。従来のパイプの工程より簡潔にできお客様のご要望に迅速に対応出来ます。

	大引受具	ベース金具	
従来品			
ステップ鋼製束			
	ステップ①・②兼用品		ステップ②
	<p>● 大引受プレート・ベースプレートも従来品を見直し リブ加工等の処理を施し、荷重を分散する形状と致しました。 これにより、大引のめり込みを防止し、尚且つ基礎体への 荷重の集中を分散させ、長期間安定した性能を発揮致します。</p>		

ここに記載しました技術資料、標準処方例は、当社試験・研究に基づいたもので信頼しうるものと考えられますが、相手の材質・使用条件・環境などによりかなり相違する場合があります。
従って、需要家各位で充分ご確認の上、ご使用下さる様お願い致します。